

シンポジウム

多摩地域と私立大学

日本の社会変容が進み、地域社会と大学が画期を迎えているいま、大学と地域の関係がいかにあるべきなのかが問われています。戦後、多摩地域に開設・移転した大学は、50校を超えます（短期大学を含む）。これらの大学は、地域社会の一要素となり地域の歴史・文化の一部を構成してきました。本シンポジウムでは、多摩地域に拠点を置く中央大学・明星大学・帝京大学の例からこの問題を検討します。

中央大学は、大学のあゆみをたどることができる大学史資料館を2024年4月1日にオープンしました。本シンポジウムはその記念行事として開催し、一般のみなさまのご参加も歓迎します。本シンポジウムが、多摩地域と私立大学の過去・現在・未来を、市民のみなさまとともに考える場となれば幸いです。

日時 2024年10月5日(土) 13:00～17:00

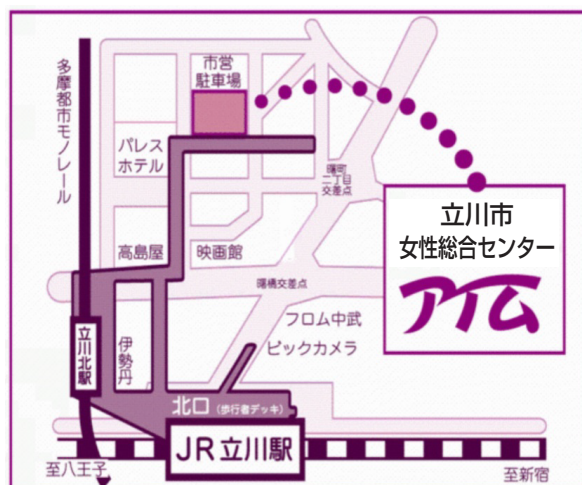
会場 立川市女性総合センター
(アイムホール)

JR立川駅北口から徒歩7分

※オンライン配信あり

参加費 無料 ※お申し込みが必要です。

オンライン配信やお申し込みの詳細は
チラシ裏面をご覧ください。



JR立川駅および多摩都市モノレール立川北駅からは、歩行者デッキでつながっています。できるだけ、公共交通機関をご利用ください。

プログラム

開会挨拶

趣旨説明 — 多摩地域と私立大学 — …………… 宮間純一（中央大学文学部 教授）

《第1報告》

多摩地域と私立大学：「多摩地域の中の」大学と「大学の中の」多摩地域

…………… 高橋裕史氏（帝京大学総合博物館 館長
帝京大学経済学部 教授）

《第2報告》

「多摩科目」群の取り組みと明星大学 …… 高橋珠州彦氏（明星大学教育学部 准教授）

《第3報告》

多摩地域と中央大学 …………… 北村厚介氏（中央大学大学史資料館・資料館事務室）

コメント …………… 保坂一房氏（たましん地域文化財団歴史資料室）

討 論

ファシリテーター：小林一岳（明星大学教育学部 教授）

宮間純一（中央大学文学部 教授）

申し込み方法

右記より 10月2日（水）までにお申し込みください。
オンライン参加の方には、URL などの情報をお送りします。

<https://forms.gle/31CVZUuzedqz2XeaA>



お問い合わせ

シンポジウムに関するお問い合わせは下記までお願いします。
mjunchi001e@g.chuo-u.ac.jp（中央大学宮間純一）

主催：中央大学 大学史資料館

**共催：中央大学政策文化総合研究所「地域社会の持続と歴史的資源の保存・活用」チーム、
立川市**

後援：たましん地域文化財団